

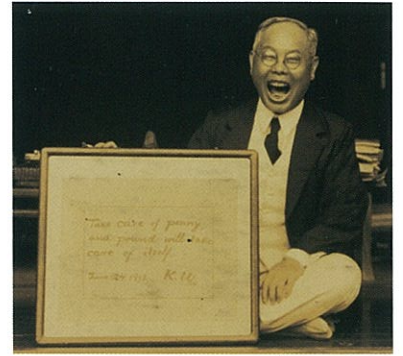
青木義雄と内村鑑三

青木義雄(1869~1950)は栃木県塩谷郡狭間田村(現さくら市)出身の実業家・銀行家として活躍し、熟田村長も務めました。内村鑑三(1861~1930)は「無教会主義」を唱え、時代を主導したキリスト教宗家です。

青木と内村は1894(明治27)年7月運命的に出会いました。箱根で内村の講演「後世への最大遺物」に感動した青木は、東京の「聖書研究会」に通い始め、以降信仰を深めながら物心両面で内村を支えました。

1906(明治39)年には内村のたび重なる栃木県訪問を通じて宇都宮に「教友会」が組織され、1908(明治41)年、二人が日光・中禅寺湖で聖霊の降りる感動を共有するなど、絆が深められます。1915(大正4)年には青木義雄が主催する「木曜会」も始まり、内村を迎えた集会は狭間田でも行われました。集会には多くの若人が集まり熱気あふれるものとなりました。そして内村は狭間田を聖地にしたいという夢をもつこととなります。

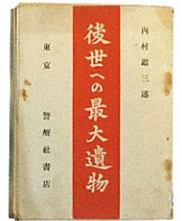
青木と内村は生涯を通じて心を通わせ、内村は「肉の兄弟より霊の兄弟」と青木に感謝を伝えています。青木義雄の生家には400通を超える内村鑑三からの書簡が残されており、本展では多くの書簡等から二人の親交、栃木県そして、さくら市との縁を紹介します。



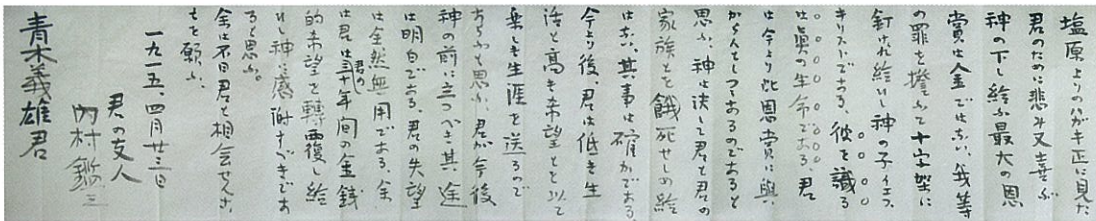
内村鑑三の書を手にする青木義雄 写真所蔵:個人



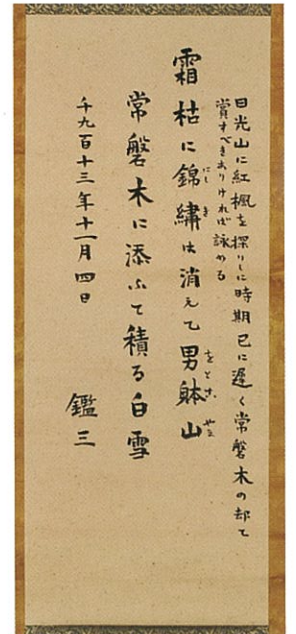
青木義雄宛 内村鑑三葉書 1904(明治37)年 所蔵:個人 当館寄託



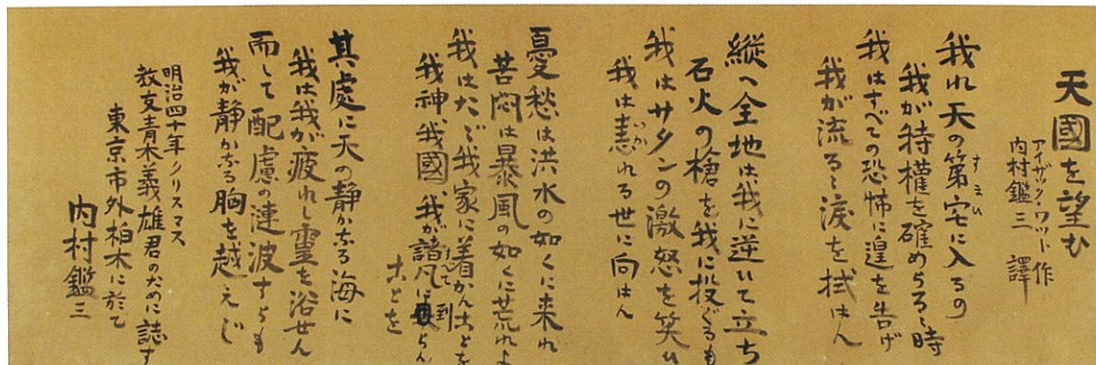
内村鑑三著「後世への最大遺物」 1916(大正5)年刊行 所蔵:個人 当館寄託



青木義雄宛 内村鑑三書簡 1915(大正4)年4月23日 所蔵:個人 当館寄託



内村鑑三 和歌書 1913(大正2)年11月4日 所蔵:個人 当館寄託



内村鑑三 書「天国を望む」 1907(明治40)年12月 所蔵:個人 当館寄託

同時開催 特選洋画収蔵展Ⅲ

郷土ゆかりの現代絵画

さくら市ミュージアムで収蔵する、さくら市ゆかりの現代作家の作品をご紹介します。



杉山吉伸「レトロの部屋」



森温理「無題」

ギャラリーコンサート

「サンポーニャとケーナの調べ」 瀬木貴将コンサート

出演 瀬木貴将
/サンポーニャ、ケーナ
越田太郎/ギター

日時 12月8日(土)午後2時から
会場 エントランスホール
備考 観覧料が必要となります。



瀬木貴将



越田太郎

記念講演会

①「内村鑑三～人と信仰～」

講師 中央学院大学 現代教養学部 教授
文学博士(東京大学) 黒川知文氏
日時 12月1日(土)午後2時より

②「青木義雄と内村鑑三」

講師 元氏家町史編さん専門委員長 大嶽浩良氏
日時 12月15日(土)午後2時より
※会場はいずれも講座室 事前申し込み不要 聴講無料



さくら市ミュージアム
- 荒井寛方記念館 -
勝山城跡 勝山公園

さくら市ミュージアム ~ 荒井寛方記念館 ~

〒329-1311 栃木県さくら市氏家1297

TEL 028-682-7123 FAX 028-682-7854

http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/site/sakura-museum/

交通のご案内
●自動車をご利用の場合
東北自動車道宇都宮インターチェンジより車で30分。
同、矢板インターチェンジより車で20分。
同、上河内スマートインターチェンジ(ETC専用)より車で20分。
●鉄道をご利用の場合
●JR宇都宮駅から東北本線(宇都宮線)にて3駅目、JR氏家駅下車。
JR氏家駅からタクシー乗車(約5分)。